

— わが家の生ゴミ処理法 —

夏です。!!

日常生活から出る生ゴミは、大切な資源です。生鮮食料の増える季節に入り、どこの家庭においても沢山の生ゴミが出、水切り、仕分けなど対応が非常に面倒臭く自然とゴミの混入が多くなり、排出量も増大してきます。そこで生ゴミを自宅において簡単に処理し、六年間も良質の堆肥づくりを続けておられます光永鈴代さん(湯免)のお宅を取材しました。

生ゴミは大切な資源です

(光永さんの取り組みと談)

この方法を知ってから、さっそく廃棄ブロックを再利用し積み重ねてコンポート(ゴミ堆肥槽)をつくりました。その後、生ゴミをゴミステーションに出したことはなく、全部自家菜園用のための堆肥づくりと土づくりに励んでいます。

また可燃物はできるだけ焼却炉で処理し、灰はコンポートへ乾燥剤、土づくりとして混入し再利用しています。ゴミとして出るのは、不燃物、大型ゴミ、乾電池などですが、分別すればゴミの排出量もぐんと少なくなりますね。

コンポートでの堆肥づくりは適度の酸素、温度、水分量と発酵菌の繁殖ですからブロックは非常に材料としては適しています。日頃の維持管理としては投棄するたびにホーク



コンポートをクワでかきまぜ酸素を与え、説明される光永さん

等で切り替えしをします。また、生ゴミの中へプラスチック、ビニール、タバコの吸いがら等の混入はさけます。発酵菌の繁殖を妨害し熱で混入物が燃え発酵菌が死に絶え良い堆肥はできません。ですからゴミの分別は大変重要となります。また雨の日はできるだけ覆いをするとう水分調整も簡単で、犬、猫等の喰い散らかしがなく清潔に管理できます。このように工夫をすればゴミ処理は家庭でできますので、住みよい環境づくりと、ゴミ減量運動を皆さんで展開して行きましょう。

使用方法

③ 台所の生ゴミはほとんどが水分です。水分は地中に吸収されますが多すぎる場合には枯葉、わら、ダンボール片、等を投入して下さい。	② 日当たりのよい土の上をよく耕して地中5cmくらい埋めて設置して下さい。	①
④ 生ゴミが20cmぐらいの厚さになりましたら土を2~3cmの厚さにかけて下さい。生ゴミの発酵を促進させます。	⑤	

生ゴミ処理器の有効利用を!!

(コンポスター)

本町が生ゴミ処理容器(コンポスター)の購入補助制度を始め、平成二年度までに八百四十三個が各家庭に配置されました。

しかしながら、その正しい使用方法がされず有効利用にいたっていないものが多くあるのではないかと思われます。そこで、容器の適正な使用方法を掲載しますので参考にし、有効に活用されますようお願いいたします。

なお、害虫駆除、脱臭剤等のお尋ねは三隅町環境保健推進連絡協議会事務局まで
TEL ③-11900

